

伊勢湾・三河湾の水産資源に必要な 栄養や生息場について考える シンポジウム(第2回)

参加費
無料

先着
120名

近年、伊勢湾、三河湾では、生物に必要な栄養分不足や干潟等生息場の減少が課題となっており、海苔の色落ちや漁獲量の減少が生じています。これらの課題を解決するためには、各組織の枠組みを超えた体制による伊勢湾再生推進の相互取り組みが重要となります。

今回(第2回)のシンポジウムでは、水産資源の回復に向けた栄養塩の管理や藻場・干潟の生物生息場の環境などの伊勢湾・三河湾の再生について考えます。

日時

令和6年 **10月15日(火)**
14:00~17:00 (開場 13:30)

会場

名古屋港ポートビル

4階 講堂 (定員120名)
(愛知県名古屋市港区港町1番9号)

申し込み

参加をご希望の方は、

- ①氏名(ふりがな)
- ②ご所属
- ③メールアドレス をご記入のうえ、
下記のアドレス宛に送信してください。

pa.cbr-isewan-saisei@mlit.go.jp

プログラム

主催者・来賓挨拶

基調講演 (30分)

「伊勢湾シミュレーターの研究成果について」

名城大学大学院総合学術研究科 特任教授 **中田 喜三郎**

取組紹介・話題提供 (70分)

「伊勢湾・三河湾における持続的な海域環境再生に向けた
市民の取組」 日本福祉大学国際学部 特任教授 **千頭 聡**

「愛知県の漁場の生産力強化への取組ー栄養塩管理運転の経過を中心にー」
愛知県農業水産局 水産課長 **柴田 晋作**

「鉄鋼スラグ製品を用いたブルーインフラ※の取組紹介」

日本製鉄株式会社 上席主幹 **田崎 智晶** ※藻場・干潟等及び生物共生型港湾構造物

「伊勢湾・三河湾における藻場造成と」ブルークレジット®の認証について」

NPO法人SEA藻 プロジェクトリーダー **鈴木 望海**

パネルディスカッション (テーマ:伊勢湾再生に向けて、いま私たちに出来ること)

(45分)

コーディネーター: **青木 伸一**

大阪大学大学院工学研究科

名誉教授

パネリスト: **千頭 聡**

日本福祉大学国際学部

特任教授

鈴木 輝明

名城大学大学院総合学術研究科

特任教授

倉島 彰

三重大学生物資源学科

教授

永田 桂子

NPOシーブリーズ

代表



◇お問い合わせ先 中部地方整備局 港湾空港部 海洋環境・技術課 寺田・堂坂 TEL.052-209-6329

共催:国土交通省中部地方整備局・愛知県

協力:NPO法人伊勢湾フォーラム



公共交通機関等をご利用ください

名古屋港ポートビルHP

